

## 幸福実現党の創設理念

### 宗教政党としての「理想国家」の実現

寛容を旨とする宗教政党として、国民が精神的な豊かさを享受し、経済的にも繁栄する理想的な国家をめざします。

### 責任政党としての「毅然とした国家」の実現

国民自らの手で勇気を持って憲法を改正し、「毅然とした国家」をつくることをめざします。

### 保守政党としての「真なる民主主義」の実現

民主主義と、その原点である信教の自由、言論・出版の自由を守り、民主主義を支える自由主義、繁栄主義を国内外で確立します。

### 国民政党としての「具体的幸福」の実現

広く開かれた国民政党として、国民の声に真摯に耳を傾け、国民の具体的幸福を実現します。



# 幸福実現党

スタート! ジャパニーズ・ドリーム!



スタート! ジャパニーズ・ドリーム!

# 幸福実現党

幸福実現党の主要政策

発行 幸福実現党

<http://www.hr-party.jp>

幸福実現党の主要政策 (2009年5月)



世界はまだ、戦乱と紛争の中にあります。日本国内でも、善悪の価値観が乱れ、いじめや自殺、犯罪などが増大しています。また、アジア情勢が緊迫するなか、国防面でも主権国家としての手足が縛られ、国民の生命・財産・安全が危機にさらされています。

こうした世情の中、幸福実現党は、日本と世界の人々の幸福の具体化、幸福の倍増に責任を持ち、夢の未来を実現すべく、勇気を持って行動します。

新しい時代を創造するには、新たなビジョン、新たな発想、新たな智慧が必要です。私たちは、経済と技術と文化の大国として、日本が、強い責任感と使命感を持ち、「平和と繁栄」を提供する世界のリーダーとなる未来ビジョンを描いています。

その第一歩として、1年以内に年率3%以上の経済成長を実現し、株価を2倍にし、日本を元気にします。また、いじめ防止や学力向上など公教育の根本改革や、国防力の強化に取り組み、国民が安心して暮らせる、未来に希望が持てる国づくりを実現します。

そのために、「努力する人が報われる社会」をつくります。そして、成功者をたくさん輩出して、世界があこがれるような国にします。

これこそ、私たちが目指す「ジャパニーズ・ドリーム」です。国民の力を解放し、もっと明るく、もっと繁栄する国にしたい。そして、他国をも繁栄させていく大国としての責任を果たしていきたい。その過程で、「日本に生まれてきてよかった」と心から思えるようになると信じています。

ぜひ、私たちのビジョンに賛同してくださる皆さまと、明るい夢の未来づくりを実現していきたいと願います。

幸福実現党 党首 あえ ぼ 饗庭 じきどう 直道

# いまこそ、夢の 未来へ挑戦!



# 幸福倍増を 実現します。

## 1.

### 日本の景気をよくし、経済をよみがえらせます。

#### 年率3%以上の 経済成長を実現します。

積極的な金融緩和や減税政策、さまざまな規制緩和などにより、名目GDP年間3%以上の経済成長を実現し、不況に苦しむ世界経済の牽引役を果たします。

#### 株価を2万円台に乗せます。

景気刺激策に加え、証券税制の見直しや、外資規制の緩和などにより、1万円以下で低迷する日経平均株価を速やかに2万円台に乗せ、国民や企業の株式資産を倍増します。

## 2.

### 安心して任せられる 公教育を実現します。

#### いじめ防止法を制定し 学校からいじめを追放します。

教育現場の聖域化がいじめの温床になっています。いじめに加担したり、隠蔽するなどした悪質な教員らに対処する法律を制定し、学校内部に一般社会と同じような法律や「正義」が通じるようにします。

#### 公立学校の指導力の向上を図り 「塾にたよらない学校」を目指します。

子供たちの学力低下をもたらした「ゆとり教育」を完全に転換し、公立学校の教員の指導力向上（受験指導を含む）に取り組み、子供と家計の負担を減らします。

## 3.

### 隣国の脅威を防ぎ、国民の安全を守ります。

#### 憲法9条を改正し、国民の 生命・安全・財産を守ります。

緊迫するアジア情勢の中にあって、国民の生命・安全・財産を確実に守るために、憲法9条を改正し、国家の防衛権を定めます。隣国に悪を犯させない「毅然とした国家」を築きます。

#### 宗教的寛容の精神に基づき 世界の平和を実現します。

宗教的寛容の精神を有する日本がリーダーシップを取って、世界平和を実現していきます。侵略目的を持つ国家の核の廃絶を最優先にめざし、現実的にも世界の平和を大きく前進させます。

# I. 働く人の幸福の倍増

雇用を守り、所得と資産を増やします。



## 1. 資金繰りに困っている企業を徹底支援します。

景気回復に向け、大企業、中小企業、ベンチャー企業を問わず、資金繰りに困っている企業がつぶれないように積極的に資金を供給し、国民の雇用を守ります。

■金融政策として、3%程度のインフレ目標値を設定します。日本銀行と協調して、ゼロ金利の導入や、さらなる量的緩和を速やかに進め、潤沢な資金を市場に供給します。■金融機関が貸し渋りや貸しはがしを行わないよう、緊急対策として、政府がバックアップして、金融機関の自己資本の増強をはかります。■株価の低迷については、証券優遇税制をさらに推し進め、配当および譲渡益にかかる10%の税金を段階的に廃止します。■外資規制の緩和を進め、諸外国からの積極的な投資を促します。

## 2. 未来の基幹産業を育て 数百万人の雇用を創りだします。

これまで日本経済を引っ張ってきた自動車や電機に加え、日本の強みを生かした「未来の基幹産業」として、ロボット産業などを育て、数百万人単位で雇用を創出します。

■家事や介護でも活躍しつつあるロボット産業、燃料電池などの新エネルギー分野や、日本が高い潜在力を有している航空・宇宙産業などに、政府として投資・融資し、技術革新を起こします。

## 3. 「交通革命」を起こし 「未来型都市」建設を進めます。

人の移動や物流をより速く、より安く、より安全で快適なものへと変える「交通革命」を起こし、経済インフラを増強します。合わせて、都市開発の規制緩和を進め、「未来型都市」建設を進めます(p.9参照)。

■都市部の渋滞ゼロを実現します。そのために、都市部の高速道路の渋滞区間を2階建てにします。地下高速トンネル道路の拡充や、交差点の立体化にも取り組みます。■ラッシュ時に2階建て列車を走らせるなど、鉄道の混雑緩和をはかります。■リニア新幹線を整備し、都市間の結びつきを強めます。■航空機をバス代わり、タクシー代わりに簡単に利用できるよう、小型ジェット機によるチャトル便を全国で活性化します。

## 4. 農業に自由に参入できるようにし 国際競争力を高めます。

農業分野に、個人や企業家、株式会社が自由に参入できるようにし、農業に企業家精神を取り入れます。これにより農業を効率化、大規模化し、先進的技術で国際競争力を高め、将来の食糧危機にも備えます。

■農業への株式会社の参入を自由化します。農家が企業に雇用され、安定的な収入を確保できる道を開きます。若年層の雇用拡大にもつなげます。■既存の農家以外に取得が原則制限されている農地を自由に売買できるようにします。意欲のある企業家や若い世代が農地を購入できるようにします。■「植物工場」の開発・普及など、技術革新による先進的農業を実現します。

# II. 女性や高齢者の幸福の倍増

たのしく暮らせる豊かな生活を実現します。

## 1. 消費税率を引き上げません。

景気を回復させ、税収を上げることによって、消費税率5%から引き上げません。さらにその財源として、以下の行財政改革も加味します。

①行政運営に「経営の思想」を取り入れ、生産性の向上をはかります。その一つとして、公務員の給与を税収と連動させる「景気・税収連動型給与体系」を導入し、公務員の景気回復へのモチベーションを高めます。

②公立病院の経営効率化を進め、全体の医療費を抑えます（下記「2. 医療負担の軽減」を参照）。

③景気の動向を見ながら、国民の平等性の観点から、広く薄く公平に負担を分かち合っています。社会のインフラを共に支えるという、国民としての尊い義務を果たすことになります。

④憲法を改正し、予算の単年度制を廃止し、年度末に予算を使い切る悪習を払しょくし、好況期には税収を積み立てていく「ダム経営」を国家に導入します。

■公務員の給与の額を税収と連動させるため、人事院制度や公務員給与法などを見直します。■憲法86条を改正し、予算の単年度制を廃止します。

## 2. 公立病院の経営効率化で、医療負担を軽減します。

赤字の公立病院の経営を効率化して黒字化をはかり、患者の方々の医療費負担を軽減します。そのために、黒字経営をしている民間病院などの経営手法を取り入れます。大企業から経営指導を受けたり、直接、大企業に病院経営を引き受けてもらうことも進めます。これにより、低料金の病院や深夜営業の病院など、多様な医療サービスを実現します。

■赤字の公立病院の経営を大企業に指導させます。■事実上認められていない株式会社による病院経営を解禁します。■医師でなくても医療法人や病院のトップに就けるようにし、企業経営者らに門戸を開きます。■医学生や医師が効率的な病院経営を学べるシステムを医大につくります。■終末医療は費用が高く、一部行き過ぎた部分もあるため、宗教的観点から苦痛の期間をいらずに長引かせないという選択も重視し、自宅で家族に看取られながら幸福に旅立つことを尊重します。

## 3. 外国人をベビーシッターなどで受け入れ女性が働きやすい環境をつくりま

外国人が介護職や、ベビーシッター、家政婦として働ける環境を整えます。これにより、介護や子育て、家事の役割を軽減し、女性が働きやすい環境をつくり、生き方の選択肢を増やします。子育てや介護に余裕ができることで、少子化問題の解決につながります。

■日本で働きたい外国人で、日本語が一定程度できる人が、介護職や、ベビーシッター、家政婦として入国し、働けるように入管規定を緩和します。■三世帯同居や二世帯住宅を税制面から後押しし、身近に子供の祖父母がいる環境をつくりま



## 4. 都市部の便利な場所に 広い住宅を、安く供給します。

都市・住宅開発において抜本的な規制緩和を進め、都心部の便利な場所に、広く大きく安い住宅を大量に供給します。これにより、職住接近で女性が働きやすい環境をつくり、少子化問題の解決につながります。土地売買・利用規制の原則自由化を段階的に進め、宅地供給を促します。

■容積率や建ぺい率についての規制緩和、空中権の活用などを積極的に進めます。これにより、都市部のビルやマンションの高層化をはかり、広い住宅を安く供給します。■土地利用や売買に関する規制の原則自由化を段階的に進め、土地を一つの商品として自由に売り買いできるようにします。■都市部の公立学校の建物を高層化し、上部を住宅として活用します（自治体や学校建設の財源にもなります）。

## 5. 相続税と遺留分<sup>いりゅうぶん</sup>制度を廃止し、親の老後の面倒を見る子供にメリットを与えます。

相続税と遺留分制度の廃止によって、親の老後の面倒を見る子供に対し、親が住宅や土地などの財産を譲りやすくし、メリットを与えます。親孝行や家族間の助け合い、家族のきずなが見直されることになり、公的な年金や介護の役割も小さくなります。

※遺留分とは、子供や配偶者が一定分を相続する権利を有するため、特定の子供に優先的に遺産相続させたくてもできない制度。

# Ⅲ. 子供の幸福の倍増

いじめのない学校で、才能と人格を育てます。



## 1. いじめ防止法を制定し学校からいじめを追放します。

深刻化するいじめの問題に対しては、いじめに加担したり、隠蔽する<sup>いんぺい</sup>などした教員らに対処するいじめ防止法を制定します。学校内部に一般の社会と同じような法律や「正義」が通用するようにし、義務教育を健全な環境で受けられるようにします。

■いじめに加担したり、隠蔽するなどした教員や校長、教育委員会、PTAに対して厳しい措置を行います。■いじめ加害者への出席停止などゼロトレランス（規律重視の指導）を導入します。■教育委員会に民間人の常識を導入した外部チェックの仕組みをつくります。■コミュニティスクール（公設民営校）を導入し、いじめや不登校、非行などに対応し、単位も取得できる学校をつくります。

## 2. 宗教教育を取り入れ、優れた人格を育てます。

宗教教育を取り入れ、善悪の価値観や、愛と慈悲、セルフヘルプの精神といった普遍的な宗教精神を教えます。道徳教育についても、さらに充実させ、自分を律し、他の人を理解できる優れた人格を育てます。

■教育基本法15条「宗教に関する寛容の態度、宗教に関する一般的な教養及び宗教の社会生活における地位は、教育上尊重されなければならない」の趣旨を徹底します。■憲法20条3項を改正します。

## 3. 公立学校の指導力向上に取り組み塾に通う負担を軽減します。

私立受験や塾通いが子供にも家計にも大きな負担となっています。「ゆとり教育」を完全に転換して、教員の指導力を向上させ、安心して任せられる公教育を実現します。公立学校においても受験指導もできるようにし、「塾にたよらない学校」を目指します。家計負担の軽減を図り、少子化対策にも貢献します。

■公務員の仕事の情報公開として、全国学力調査などで学校別の成績を公表します。■児童生徒、保護者の意向を反映した教員評価の普及・拡大をはかります。■都市部を中心に学校選択制を積極的に活用し、住んでいる地域に関係なく、学校を選べるようにします。■学級崩壊の原因は、教師の側の学力・指導力不足が大きいため、教師の受験対応能力アップをはかります。■教員免許を持っていない人を学校長や教育委員会の判断で採用できるようにします。実社会で活躍する人や、塾・予備校講師など、優秀な人材を公立学校に集めます。

## 4. 才能を最大限に開花させる天才教育を目指します。

才能を最大限に開花させる教育を実現し、日本から多数の天才を輩出し、各界で世界をリードする人材を育てます。特に高等教育では、実社会で活用可能な、先見性のある付加価値の高い学問を教えます。

■公立学校での飛び級制度を活用します。理系ではすでに導入されていますが、文系においても飛び級を積極的に認めます。国語や社会、英語に突出した人の飛び級を認めると、文学者や芸術家などの創造型の人材が出てくる可能性が高まります。■大学教育にプラグマティズム（実用主義）の発想を取り入れ、すぐに活用できる業務知識、専門知識、技術を教えます。■教育行政において規制を大幅に緩和します。国立大学の民営化なども進めます。

# IV. 国民の安全の倍増

隣国の脅威を防ぎ、国民の安全を守り抜きます。

1998年に北朝鮮が打ち上げた  
中距離ミサイル・テポドン1号。

## 1. 憲法9条を改正し、断固として 国民の生命・安全・財産を守ります。

幸福実現党は、「外国からの侵略によって国民の生命・安全・財産が侵されることは断固許さない」という気概の下、憲法9条を改正し、国の防衛権を定め、国民が安心して暮らせる日本をつくります。

## 2. 中国・北朝鮮の軍事的脅威に対し 「毅然たる国家」としての防衛体制を築きます。

また、日中両国間などで懸案となっている歴史認識問題に対しては、「日本に向けている核ミサイルを廃棄してから、日中の平和を語るべきだ」と堂々と反論する毅然たる態度で臨みます。

■北朝鮮のミサイル発射などに反撃できる能力を構築します。■日本の主要都市にミサイルを向けている中国、核兵器とミサイルの開発を進める北朝鮮に対し、原子力潜水艦や人工衛星から防衛できる核抑止力を築きます。■中国が空母建造などによってアジアの制海権を握ろうとしていることへの対抗手段をとり、台湾や沖縄近海と、中東に至るシーレーン（海上交通路）の秩序を維持します。

## 3. 日米同盟を機軸とし 国益重視の外交を行います。

外交においては、アメリカとの同盟堅持を機軸としながら、インド、ロシア、オーストラリアなどとも関係強化をはかり、敵を減らし、味方を増やすことを基本とします。

■日米同盟を堅持し、アメリカの「世界の警察官」としての役割を後押しし、協力します。■インドとの同盟関係、ロシアとの協商関係をめざし、オーストラリアとの連携強化をはかります。その他の世界の民主主義国とも連携を深めます。

## 4. 宗教的寛容の精神に基づき 世界の平和と、核の廃絶を実現します。

宗教対立やイデオロギー的対立を背景とした戦争が繰り返される不幸な歴史に終止符を打つべく、宗教的寛容の精神を有する日本がリーダーシップを取り、侵略目的を持つ国家の核の廃絶を最優先にめざします。さらに現実的にも世界の平和を大きく前進させます。

# V. 世界の繁栄の倍増

世界のリーダーとして、夢の未来へ。



## 1. 「世界に開かれた日本」をつくり 世界の経済・金融・文化の中核とします。

経済的、文化的「鎖国」状態を開放して国際化を進め、世界のリーダーとしての使命を果たします。世界から人・物・資金・技術・知識が集まる世界の経済・金融・文化の中核を形成しつつ、その繁栄を地球規模で広げていく「繁栄の循環」システムを構築します。

■ 発展途上国の産品を輸入することで、その国も豊かになるとともに、教育や産業の水準が上がり、日本との経済的結びつきが強化していく、繁栄の循環をつくります。■ 海外の投資家が日本に投資しやすい環境をつくるために、規制緩和を進め、日本を世界の金融の中心地とします。■ 農産品の輸入自由化を段階的に進め、消費景気を活性化します。

## 2. 人口100億人時代に向け、 エネルギー革命、食糧革命、 宇宙開発のリーダーにします。

地球人口100億人時代に向け、富の創出と科学技術の革新が急務です。国家プロジェクトとして、エネルギー革命、食糧革命、宇宙開発などに取り組みます。環境と経済成長を両立させるような新技術を世界にも広げて、経済のパイをさらに大きくし、100億人時代に備えます。

■ 燃料電池、太陽光発電、風力発電、海洋温度差発電など新エネルギーの研究・開発を進め、「脱石油型」文明へのシフトをめざします。■ 「植物工場」や「海洋牧場」を開発を促し、飛躍的に食糧の生産性の向上をはかります。■ これからのフロンティアは海と宇宙であり、海洋・海底資源と宇宙開発を推進します。国家百年の計として、21世紀中に月と火星に基地を建設することを国家目標とします。